

認知症ブックのご案内

厚生労働省の推計によりますと、2025年に認知症患者の数は700万人を超えるとされています。これに予備軍ともいえる軽度認知障害(MCI)患者数を含めると1,300万人にも達するとも考えられています。



理事長 藤 建夫

認知症の完治は困難ですが、予測は可能です。早期に発見された場合は適切な治療によってある程度改善できることもわかってきました。脳血管障害による認知症は主因である動脈硬化を防ぐことにより予防可能であります。認知症の原因は神経難病をはじめ多数あり、その治療法、予防は異なります。

神経内科による早期の専門治療は、認知症への人生の備えをサポートします。

認知症ブック検査項目

◇問診

◇SPECT(脳機能画像)検査

脳の機能低下を画像にしてみることができます。放射性医薬品(RI)を静脈注射し、それを特殊なカメラで撮影します。検査が終わり次第、薬品は速やかに尿中に放出されるので体内に蓄積する心配はありません。

◇頭部MRI(脳断層)検査

優れた画像解析度で頭蓋内の断面を画像化して、脳梗塞や脳内出血、くも膜下出血など頭部の病変の手がかりを調べる検査です。またX線による被曝がないので、安心して繰り返し検査することができる利点があります。(所要時間:約20~30分)

◇頭部MRA(脳血管)検査

頭部MRI検査では脳の 組織の異常を視覚化しますが、頭部MRA検査では脳全体に張り巡らされている血管だけを描き出すため、血管の異常を早期に発見することができます。

◇頸部MRA(頸部血管)検査

頸部には、脳に心臓から栄養や酸素を送り込むための太い血管(頸動脈)があり、その頸動脈の動脈硬化の状況を調べることで脳梗塞の兆候を把握することができます。

◇頸動脈エコー 頸動脈の血液の流れから脳梗塞の原因を調べます。

◇心理検査 臨床心理士が記憶力や前頭葉機能等について検査します。

◇運動機能検査 理学療法士が認知症と他の神経障害を 重心動揺等運動機能などで検査します。

◇身体測定(身長・体重・視力・体脂肪率・BMI)

◇血圧測定(24時間) 動脈や心臓に関する疾患の検査です。

◇心電図検査(24時間) 脳血管性認知症や脳梗塞を おこしやすい疾患の検査です。

◇尿・血液検査 生活習慣病の検査です。

◇総合診断(神経内科、心療内科、放射線科、内科)



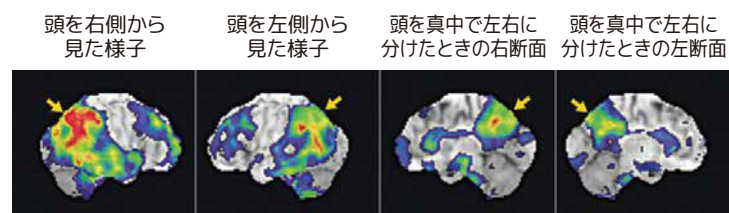
認知症とは・・・

主なものとして以下の4つが挙げられます。

- ・アルツハイマー型認知症
- ・レビー小体型認知症
- ・脳血管型認知症
- ・前頭側頭型認知症

そのうち、およそ半数はアルツハイマー型認知症ですが他の神経障害の内科疾患の進行期にも見られ、認知症ブックでは、認知症の進行と老化に関わる背景がわかります。

アルツハイマー型認知症の状態



※赤い部分は、より血流が低下している部分です。

治療は早いほど効果と将来の予測ができるため、早期発見と治療が有効です。

[担当医] 神経内科／藤 建夫(理事長) 放射線科／竹井秀敏(院長補佐)
脳神経外科／橋爪 明 心療内科／久保義彦



医療法人 札幌 山の上病院

〒063-0006
札幌市西区山の手6条9丁目1番1号
TEL. 011-621-1200 FAX. 011-621-3577
<http://www.yamanoue.ne.jp>

— 診療科目 —

神経内科・リウマチ科・消化器内科・整形外科・
内科・循環器内科・リハビリテーション科・呼吸器内科・
老年内科・放射線科・心療内科・脳神経外科
がん・リウマチ・神経難病リハビリテーションセンター
臨床脳神経研究施設